

平成27年度 第1回部長・監督会議 議題

日 時：平成27年3月27日 午前9時より

会 場：愛知県スポーツ会館 第1会議室

参加者：岸本様（学泉大）、菅谷様（中部大）、高須様（名工大）、中野様（愛知淑徳）、
松岡様（中京大）、松本様（中京大）、松本様（東海学園）、

【1】前年度の部長監督会議であげられた問題についての対応

1. ダブルエントリーについて
2. リーグの入れ替え戦について
3. 夏大会の日程について
4. 新進の日程について
5. 室内の会場について
6. 学連を出している大学への特典について
7. ポイント制度について
8. 新入生評価基準について
9. オーダー規約について

【2】今年度からの変更点について

1. 大会の使用球について
2. 高校生との交流会について
3. リーグの日程について
4. 室内の出場資格について
5. ミニリーグについて

【3】その他、事前に頂いた FAX、メールでの部長・監督の方のご意見についての対応

1. 会計について

【4】質疑応答

1. 学連について
2. 主将主務会議について
3. 大学の一本化について

※青 枠：前回（8月）の部長・監督会議でのご意見と学連の対応

緑 枠：今回の部長・監督の事前に FAX,メールでいただいたご意見と学連の対応

オレンジ枠：今回の部長・監督会議でのご意見とその対応

【1】前年度の部長・監督会議であげられた問題についての対応

1. ダブルエントリーについて

〈前回の部長・監督会でのご意見〉

(1)主要大会を考慮して東海学生テニス連盟主催の大会の日程を組んではどうか。

〈学連〉

(1)今年度は、ヨネックスオープン、東海中日を考慮して日程を組んだ。(別紙参照)

2. リーグの入れ替え戦について

〈前回の部長・監督会議でのご意見〉

(1)下部1位校と上部6位校を自動入れ替えにしてはどうか。

〈学連〉

(1)H26 11月の主将主務会議で話し合った結果、下部1位校と上部6位校も入れ替え戦を行う。

(理由)

- ・実力を明らかにした方がよい。
- ・チャンスを与えてほしい。
- ・大学4年間最後の試合が自動入れ替えでなくなってほしくない。(4年生の意見)

3. 夏大会の日程について

〈前回の部長・監督会議でのご意見〉

(1)夏大会を試験期間に行っていたため、夏季休業中に行ってはどうか。

(2)予選と同じように土日で行うのはどうか。

〈学連〉

(1)夏季休業中には、インカレ、リーグ戦が行われるため、夏大会本戦を夏季休業中に行うのは日程的に厳しい。

(2)土日に行うことを考えたが、本戦会場を借りることができなかつたため、例年通りの日程で行う。

〈事前に FAX,メールでいただいた部長・監督の方のご意見〉

(1)大会による授業欠席をできる限り避けるため、本戦を土日に行ってほしい。

〈学連〉

(1)・H27 春大会本戦は5月に岐阜メモリアルセンターで行われる全日本ジュニアテニス選手権大会岐阜県予選、マラソンなどの関係で土日に本戦会場を借りることができない。

・H27 夏大会本戦は名古屋グリーンを土日で借りることができなかった。

・大会を土日で行うならば、来年度以降、会場を変えるなどしていきたい。

〈今回の部長・監督会議でのご意見〉

(1)本戦を土日始まりにはどうか。

半分くらいの学生が平日学校に行くことができる。

父兄も見に来ることができる。

同じ曜日の授業の欠席を1回にとどめたい。

(2)インカレ後に夏大会本戦を行うのはどうか。

学連を増やせば、大会が続いても運営できるのではないか。

(3)会場を変えるのなら本戦をオムニコートではなく、クレーコートで行ってはどうか。

(名城公園コートなど)

〈学連〉

(1)土日始まりになるように考えたが、会場を借りることができなかった。

来年度以降、土日始まりにできるよう日程を組みたい。

(2)夏大会の時期に関しては学連で話し合う。

(3)会場、サーフェスに関しては学連で話し合う。

4. 新進の日程、ポイントについて

〈前回の部長・監督会議でのご意見〉

(1)今年度より新進を2.3月、チャレンジを10月で行ってはどうか。

〈学連〉

(1)新進を2.3月、チャレンジを9.10.11月中に行う(別紙参照)

今年度の新進のポイントの付け方は以下の通り

①平成26年度新進大会と平成27年度新進大会のポイントを足して2で割ったポイントを平成27年度のポイントとする。

②平成26年度の新進大会には出場したが、平成27年度の新進大会では出場資格に当てはまらず出場できなかった選手は、昨年の新進のポイントで平成27年度のポイントとする。

③平成26年度の新進大会には出場し、平成27年度の新進大会でも出場資格があったが出場しなかった選手は、平成26年度の新進大会のポイントの半分のポイントが平成27年度のポイントとなる。

5. 室内の会場について

〈前回の部長・監督会議でのご意見〉

(1)室内大会を愛知県体育館より会場費のかからない岐阜メモリアルセンターで行えばよいのではないか

〈学連〉

(1)今年度の室内大会は第50回目となるため、記念として昨年まで使用していた愛知県体育館で行う。

〈事前に FAX,メールでいただいた部長・監督の方のご意見〉

- (1)破産状態でもあるのにもかかわらず、室内大会を 50 回記念という理由で愛知県体育館で行うのは納得がいかない。

〈学連〉

- (1)・昨年、室内大会を岐阜メモリアルセンターで行うのはどうかというご意見をいただき、メモリアルセンターの会場を取っていたが、東海学生テニス連盟会長竹村さんの第 50 回目は愛知県体育館で行ってほしいというご意見から今年度は、愛知県体育館で行うこととした。
・来年度以降、室内大会は岐阜メモリアルセンターなどの会場で行う。

〈今回の部長・監督会議でのご意見〉

- (1)エントリー費を上げてまかなうのは間違っているのではないか。
(2)記念大会ということでどこかの企業から献金をもらうのはどうか。

〈学連〉

- (1)・エントリー費を上げたのは増税分。
・メモリアルセンターを 1 度、断ってしまっているため、今年度の室内大会は愛知県体育館で行う。
来年度以降は会場を変える方針。
(2)・企業に献金をいただくかどうかについては、学連で話し合う。

6. 学連を出している大学への特典について

〈前回の部長・監督会議でのご意見〉

- (1)学連を出している大学に特典があってもいいのではないか。
(エントリー費、登録費の割引、プラクティスコートの予約、セットボールのお渡し)

〈学連〉

- (1)学連を出している大学に対し、エントリー費、登録費の割引、プラクティスコートの予約、セットボールのお渡しはしない。

7. ポイント制度について

〈前回の部長・監督会議でのご意見〉

- (1)インカレのポイントを付けたほうがいいのではないか

〈学連〉

- (1)インカレ、インカレインドア出場者に対し、ポイントをつけることにした。
※インカレインドアの出場資格は全日本学生ランキング上位者、各地域学生テニス連盟が推薦する選手であり、推薦選手も含まれるため、インカレのポイントの半分程度のポイントをつけることにした
ポイントは次頁の通り。

シングルス

	96	64	32	16	8	4	2	1
東海学生チャレンジテニストーナメント大会				1	2①	4②	8④	10⑥
東海学生新進テニス選手権大会		4	8	15	25	50	65	80
東海学生春季テニストーナメント大会		20	40	90	160	300	400	500
東海学生テニス選手権大会		20	40	90	160	300	400	500
全日本学生テニス選手権大会本戦	10	20	40	90	160	300	400	500
全日本学生テニス選手権大会予選						2	4	8
全日本学生室内テニス選手権大会本戦				45	80	150	200	250
全日本学生室内テニス選手権大会予選					1	2	4	8
東海学生選抜室内テニス選手権大会本戦				45	80	150	200	250
東海学生選抜室内テニス選手権大会予選					10	15	20	25

ダブルス

	48	32	16	8	4	2	1
東海学生チャレンジテニストーナメント大会				1	2①	4②	6④
東海学生新進テニス選手権大会		4	8	15	25	45	60
東海学生春季テニストーナメント大会		20	40	80	150	200	250
東海学生テニス選手権大会		20	40	80	150	200	250
全日本学生テニス選手権大会本戦	10	20	40	80	150	200	250
全日本学生テニス選手権大会予選					2	4	8
全日本学生室内テニス選手権大会本戦				40	75	100	125
全日本学生室内テニス選手権大会予選				1	2	4	8
東海学生選抜室内テニス選手権大会本戦				40	75	100	125
東海学生選抜室内テニス選手権大会予選				10	15	20	25

〈事前に FAX,メールでいただいた部長・監督の方のご意見〉

- (1)インカレは東海学生の大会より大きな大会であり、優勝者に 2000 ポイント程度与えても良いのではないかと。
- (2)インカレインドアは推薦選手が含まれるためインカレの半分のポイントというのは、予選は当てはまるが、本戦は当てはまらない。

〈学連〉

- (1)H26 2月主将主務会議で①インカレのポイントをつける②インカレのポイントはつけない の2択で多数決を取ったところ、①17票、②31票でインカレのポイントを付けないことが決定した。②の理由はポイントの差が開いてしまうからというものだった。しかし、その後学連で話し合い、東海学生の大会で好成績を残し、インカレ、インカレインドアに出場した選手に対し、ポイントをつけるべきであるという考えから2大会のポイントをつけることとした。ポイントの付け方を考える際、関東、関西でのポイントの付け方(春の大会の約2倍のポイントをインカレ優勝者に与える)を参考にしたが、それでは、ポイント差を広げたくないという学生の意見を考慮しないことになってしまうため、

東海では上記のとりのポイントをつけることとした。

(2)インカレインドアに対しては、部長・監督さんから推薦選手が含まれるためインカレの半分のポイントにしたというのは予選にしか当てはまらないということを指摘していただき、学連で再度話し合い、以下のようにポイントをつけた。(青文字)

シングルス

	96	64	32	16	8	4	2	1
東海学生チャレンジテニストーナメント大会				1	2①	4②	8④	10⑥
東海学生新進テニス選手権大会		4	8	15	25	50	65	80
東海学生春季テニストーナメント大会		20	40	90	160	300	400	500
東海学生テニス選手権大会		20	40	90	160	300	400	500
全日本学生テニス選手権大会本戦	10	20	40	90	160	300	400	500
全日本学生テニス選手権大会予選						2	4	8
全日本学生室内テニス選手権大会本戦				90	160	300	400	500
全日本学生室内テニス選手権大会予選						2	4	8
東海学生選抜室内テニス選手権大会本戦				45	80	150	200	250
東海学生選抜室内テニス選手権大会予選					10	15	20	25

ダブルス

	48	32	16	8	4	2	1
東海学生チャレンジテニストーナメント大会				1	2①	4②	6④
東海学生新進テニス選手権大会		4	8	15	25	45	60
東海学生春季テニストーナメント大会		20	40	80	150	200	250
東海学生テニス選手権大会		20	40	80	150	200	250
全日本学生テニス選手権大会本戦	10	20	40	80	150	200	250
全日本学生テニス選手権大会予選					2	4	8
全日本学生室内テニス選手権大会本戦				80	150	200	250
全日本学生室内テニス選手権大会予選					2	4	8
東海学生選抜室内テニス選手権大会本戦				40	75	100	125
東海学生選抜室内テニス選手権大会予選				10	15	20	25

〈今回の部長・監督会議でのご意見〉

(1)インカレインドアのポイントをつける。

- ・インカレ優勝者と春夏優勝者はレベルが違う。
- ・インカレとインドアは同じポイントにするべきでないか。
- ・インドア予選はインカレインドア予選のレベルを上げるべきではないか。(10.20.40)
- ・推薦選手には勝ったらポイントをあげるのはどうか。

(2)インカレ、インドアのポイントはつけなくてよい。

- ・全日本には全日本のポイントがあるのに、東海のポイントをつける必要があるのか。
- ・インカレインドアのポイントをつけるとすると、上位の人のランキングが変わらなくなる。
- ・インカレポイントをつけないにしても次大会のシード会で参考にするべきではないか。

〈学連〉

(1)(2)インカレ、インドアのポイントに関しては学連で話し合う。

8. 新入生の評価基準について

〈前回の部長・監督の方のご意見〉

(1)全国高等学校テニス選手権大会と全日本ジュニア選手権大会のレベルは違う。

(全日本ジュニアベスト 64 とインハイベスト 32 が同じ)

(参考) 平成 26 年夏大時点での評価基準

本戦第 4 シード	全国高等学校テニス選手権大会ベスト 4 以上 全日本ジュニア選手権大会ベスト 4 以上
本戦第 8 シード	全国高等学校テニス選手権大会ベスト 8 以上 全日本ジュニア選手権大会ベスト 8 以上
本戦第 16 シード	全国高等学校テニス選手権大会ベスト 16 以上 全日本ジュニア選手権大会ベスト 16 以上
本戦ストレートイン	全国高等学校テニス選手権大会ベスト 32 以上 全日本ジュニア選手権大会ベスト 32 以上
予選上シード	全国高等学校テニス選手権大会ベスト 64 以上 全日本ジュニア選手権大会ベスト 64 以上

・高校 3 年次の成績を考慮する

※浪人生の場合、1 浪なら 1 つ下の評価を適用し、2 浪以上は評価しない。

・他地域からの編入生の場合、地域によってポイント差があるため、学連がその選手の成績を考慮してシードを付ける。

〈学連〉 (1)

本戦第 4 シード	全国高等学校テニス選手権大会シングルス ベスト 2 以上 全日本ジュニア選手権大会シングルス ベスト 4 以上
本戦第 8 シード	全国高等学校テニス選手権大会シングルス ベスト 4 以上 全日本ジュニア選手権大会シングルス ベスト 8 以上
本戦第 16 シード	全国高等学校テニス選手権大会シングルス ベスト 8 以上 全日本ジュニア選手権大会シングルス ベスト 16 以上
本戦ストレートイン	全国高等学校テニス選手権大会シングルス ベスト 16 以上 全日本ジュニア選手権大会シングルス ベスト 32 以上
予選上シード	全国高等学校テニス選手権大会シングルス ベスト 32 以上 全日本ジュニア選手権大会シングルス ベスト 64 以上

・前年度の成績を考慮する

・浪人生は評価の対象としない

・他地域からの編入生の場合、地域によってポイント差があるため、学連がその選手の成績を考慮してシードを付ける。

〈事前に FAX,メールでいただいた部長・監督の方のご意見〉

- (1)予選で第 1 シードが倒されてしまうというような事態を招かないためにも、浪人生を評価の対象から外さなくてもよいのではないか。
高校で実績を残した選手はblankがあっても強い。
去年の大長選手への対応はよかった。
- (2)高校 3 年次、高校 2 年次の成績を考慮するのはどうか。
- (3)インターハイ、全日本ジュニア出場者に対しても予選上シードくらい与えてもいいのではないか。

〈学連〉

- (1)今年度は、春大会のエントリー会が 29 日に迫っているため、前頁の評価基準を適応する。
- (2)(3)来年度以降は、他の部長・監督の方のご意見も参考にし、再度学連で話し合いたい。

〈今回の部長・監督会議でのご意見〉

- (1)出場者に予選下シードを与えてはどうか。
- (2)レベルが高すぎないか。
- (3)インハイ 64、全日本ジュニア出場予選下シード、次に予選中下シードインハイ出場者にしてはどうか。
- (4)国体出場も予選下シードなどにいれてはどうか。
- (5)今年度から変えるべきである。

〈学連〉

- (1)出場者も評価の対象とした。
- (2)一つレベルを下げた。
- (3)中下シードはエントリー数によってつかないこともあるため、中下シードはいれない。
- (4)国体は評価の対象としない。
- (5)今年の春大会より以下の評価基準を用いることとした。

本戦第 4 シード	全国高等学校テニス選手権大会シングルス ベスト 4 以上 全日本ジュニア選手権大会シングルス ベスト 8 以上
本戦第 8 シード	全国高等学校テニス選手権大会シングルス ベスト 8 以上 全日本ジュニア選手権大会シングルス ベスト 16 以上
本戦第 16 シード	全国高等学校テニス選手権大会シングルス ベスト 16 以上 全日本ジュニア選手権大会シングルス ベスト 32 以上
本戦ストレートイン	全国高等学校テニス選手権大会シングルス ベスト 32 以上 全日本ジュニア選手権大会シングルス ベスト 64 以上
予選上シード	全国高等学校テニス選手権大会シングルス ベスト 64 以上
予選下シード	全国高等学校テニス選手権大会シングルス ベスト 128 以上

- ・前年度の成績を考慮する。
- ・浪人生は評価の対象としない。
- ・他地域からの編入生の場合、地域によってポイント差があるため、学連がその選手の成績を考慮してシードを付ける。

9. リーグのオーダー規約について

〈前回の部長・監督会議でのご意見〉

- (1)11.本戦出場者 12.予選決勝進出者 13.無資格 にしてはどうか
 - (2)夏大会と春大会のどちらを優先させるか考えたほうがいいのか (2.3、6.7、9.10)
 - (3)夏大会と春大会のよい成績を優先した方がいいのではないか (2.3、6.7、9.10)
- (参考)

全日本大学対抗テニス王座決定試合東海地区予選 東海大学対抗テニスリーグ戦 オーダー規約

選手出場順位は以下の規定に基づくものとする。

(1) シングルス

- 1.前年度全日本学生単ランキング TOP 10 プレーヤー
 - 2.本年度東海学生テニス選手権大会 単優勝者
 - 3.本年度東海学生春季テニストーナメント大会 単優勝者
 - 4.前年度全日本選手権 本戦単出場プレーヤー
 - 5.前年度全日本選手権 予選単出場プレーヤー
 - 6.本年度東海学生テニス選手権大会単本戦男子準優勝者・女子準優勝者～ベスト8進出者
 - 7.本年度東海学生春季テニストーナメント大会単本戦男子・女子準優勝者～ベスト8進出者
 - 8.前年度東海学生単ランキング TOP 10 プレーヤー
 - 9. 本年度東海学生テニス選手権大会 単本戦男子・女子ベスト16進出者
 - 10.本年度東海学生春季テニストーナメント大会 単本戦男子・女子ベスト16進出者
 - 11. 無資格者
- *1は、試合前一週間を切らずに全日本学生単ランキングが更新された場合、更新された全日本学生単ランキングを適用とする。
- *1.8は明らかに順位が上のものを上位とする。
- *4.5.6.7.9.10は、当該大会において明らかに成績が上のものを上位とする。

(2) ダブルス

- 1.前年度全日本学生複ランキング TOP 10 プレーヤー
- 2.本年度東海学生テニス選手権大会複優勝者
- 3.本年度東海学生春季テニストーナメント大会複優勝者
- 4.前年度全日本選手権 本戦複出場プレーヤー
- 5.前年度全日本選手権 予選複出場プレーヤー
- 6.本年度東海学生テニス選手権大会複本戦男子・女子準優勝者～ベスト4進出者

7.本年度東海学生春季テニストーナメント大会複本戦男子・女子準優勝者～ベスト4進出者

8 前年度東海学生複ランキング TOP 10 プレーヤー

9.本年度東海学生テニス選手権大会複本戦男子・女子ベスト8進出者

10. 本年度東海学生春季テニストーナメント大会複本戦男子・女子ベスト8進出者

11. 無資格者

*該当項目の和が少ないペアを上位とする。

*1は、試合前一週間を切らずに全日本学生単ランキングが更新された場合、更新された全日本学生単ランキングを適用とする。

*1.8は明らかに順位が上の者のいるペアを上位とする。

*4.5.6.7.9.10は、当該大会において明らかに成績が上の者のいるペアを上位とする。

〈学連〉

- (1)H26 2月の主将主務会議で①オーダー規約に本戦出場者を入れる②本戦出場者、予選決勝進出者を入れる、③現状通りの3択で多数決を取ったところ、③現状通りに決定した。また、H26 11月の主将主務会議で①1ポイントでも持っていたらポイント順にオーダーを組む、②春大会、夏大会の本戦ベスト16以上のポイント(90ポイント以上)を持っていたらポイント順位にオーダーを組む、③現状通りの3択で多数決を取ったところ、①1票、②6票、③43票となり、③現状通りに決定した。よってオーダー規約は変更しない。
- (2)(3)オーダー規約2.3、6.7、9.10の春大会、夏大会のどちらを優先するかについては、前年度の主将主務会議話し合わなかったため、今年の主将主務会議(11月の予定)で話し合うこととする。

〈事前にFAX,メールでいただいた部長・監督の方のご意見〉

- (1)規約の意図は強い順に対戦することで真の勝敗を明らかにするという考え方であり、2部以下にも適応されるべきである。
- (2)当事者の多数決で単純に決めるべきものではない。
- (3)春大会、夏大会は同列に扱っていいのではないか。
- (4)11月の主将主務会議で決めるのでは今年のリーグに間に合わない。

〈学連〉

- (1)(2)(3)(4)今年度のリーグ戦では、現状通りのオーダー規約を用いようと動いていたため、今年の11月に行う主将主務会議でオーダー規約において春大会、夏大会をどのように扱うかについて話し合おうと考えていた。しかし、他の部長・監督の方のご意見を参考にし、学連で再度話し合い、変更するならば今年度から変えられるよう動いていきたい。

〈今回の部長・監督会議でのご意見〉

- (1)春、夏を同じ基準にして入れ替え可能にしたらどうか。(2.3、6.7、9.10)
- (2)2部以下にきちんとした団体戦を行うためには予選決勝者、本戦出場者も規定に入れた方がよいのではないか。
固定が2、3人いる大学と固定がない大学が戦うと、固定に捨てゴマをあてるため、意味がない。
- (3)予選は知らない、本戦出場も知らない。

〈学連〉

- (1)(2)(3)オーダー規約に関しては学連で話し合う。

【2】今年度からの変更点

1. 大会の使用球について

・春大会、夏大会、チャレンジ大会、室内大会の予選の使用球は4球缶を使用する。

※本戦は昨年同様、室内大会以外2球缶を使用する。

2. 高校生との交流会について

・東海学生と愛知県高校テニス部との交流会を行う

(目的) 大学庭球部の雰囲気を感じ、大学でもテニスを続ける意欲と興味を持ってもらう。

(方法) 交流会を開いてくださる大学を募集し、その中から高校生が大学を選び、選んだ大学の部活に参加する。

メニューは各大学に任せる。

〈今回の部長・監督会議でのご意見〉

(1)行きたい大学が偏ってしまったらどうするのか。

(2)大学は個人で申請するのか。

(3)どういった選手を増やす目的なのか。

(4)合同説明会のようなものを行ってはどうか。

(5)6月のインターハイ後に行ってはどうか。

〈学連〉

(1)高校生は学力面も考え大学を選んでいるため、分散すると予想される。

偏ってしまった場合、大学側に開催日を増やしてもらうなどする予定。

(2)大学は個人で申請する。

(3)中級レベルの選手を増やす目的だった。しかし、開催して下さる大学が少なかったため、上位校にも声をかけ、開催してもらうこととなったため、中級レベルの選手を増やすというわけではなくなった。

(4)合同説明会は日程を組むのが厳しいため、行わない予定。

(5)6月は夏大会で各大学のコートを使って予選を行っているため開催できない。

3. 1部リーグの日程について

- ・今年度のリーグ戦は以下の日程で行う（別紙参照）

9/7 開会式 午後

8 第1戦（男女）

9 第2戦（男女）

10 予備日

11 第3戦（男女）

12 第4戦（男女）

14 第5戦（男女）

15 予備日

16 予備日

- ・天候が悪く、試合ができなかった場合、日程を1日ずらす。
- ・練習コートは予備日のみ用意する予定。

東院大、朝日大に予備日にコートを借りることができるか確認し、借りられるようならば、1部リーグエントリー会時に練習コートを使用したいかの希望をとる。

〈今回の部長・監督会議でのご意見〉

(1)9/8の朝に開会式を行ってほしい。

〈学連〉

(1)9/8の朝に開会式を行い、試合がすべて消化できないと日程がずれてしまう可能性があるため、9/7に午前10時からAコートにて開会式、午後1時から5時までBコートにてプラクティス（学連がプラクティス割を組む）を行う予定。

4. 室内の出場資格について

- ・室内の出場資格を変更した

(目的) ・毎年、室内大会に出場できる本数を同じにするため。

- ・年間を通して好成績を残した人を優先するため。

- ・エントリー方法

室内大会の出場を希望する選手がエントリー会前にエントリーをする

- ・シングルス出場者の決め方

平成 27 年度チャレンジトーナメント大会終了時の東海ポイントランキングを参考にし、エントリーした選手をポイント順に並べ、本戦出場者、予選出場者を選出する

- ・ダブルス出場者の決め方

ダブルスのペアはどのペアでも可能とする

平成 27 年度チャレンジトーナメント大会終了時の東海ポイントの合計をペアのポイントとし、エントリーした組をポイント順に並べ、本戦選手、予選選手を選出する。

- ・ドロー数

予選 シングルス 24 人 ダブルス 12 組

本戦 シングルス 8 人 ダブルス 4 組

(参考)

平成 26 年度の室内の出場資格

- ・平成 26 年度東海学生テニス連盟に登録済みの者

- ・予選
 1. 平成 26 年度東海学生春季テニストーナメント大会
男女単ベスト 16 以上、男女複ベスト 8 以上の選手及び組
 2. 平成 26 年度東海学生テニス選手権大会
男女単ベスト 16 以上、男女複ベスト 8 以上の選手及び組
 3. 平成 26 年度東海学生新進テニス選手権大会
男女単ベスト 4 以上、男女複決勝戦進出者の選手及び組
- ・本戦
平成 26 年度東海学生テニス選手権大会
男女単ベスト 16 以上のうちポイント上位 6 名
男女複ベスト 8 以上の選手及び組のうちポイント上位 3 組

5. ミニリーグについて

- ・ミニリーグを開催する。

(目的) ・試合経験を増やす。

- ・リーグに出られない選手に団体戦を経験してもらう
- ・大学の枠を超えた交流を深める。
- ・部員を減らさない。

詳細は下記のとおり

- ・日 程 予選 11月28日(土)、29日(日)、12月5日(土)
予備日 12月6日(日)
本戦 12月12日(土)、13日(日)
予備日 12月19日(土)
- ・会場 予選 大学オムニコート
本戦 大学オムニコート
- ・チーム構成 1団体 4人または5人
大学をまたいでのチーム作成は可能
- ・試合方法 ダブルス2本、シングルス1本
(一対戦で同じ選手が2回ダブルスに出場することはできない)
8ゲームプロセットマッチ
各ブロックに分かれて、総当たり戦とする
- ・ブロック 1ブロック4チーム
- ・出場資格 以下の項目に該当しない選手
 1. 1部リーグ(平成27年度)において1試合でも試合に出場した選手
 2. 平成27年度東海学生チャレンジトーナメント大会終了時の東海学生ポイントランキングのポイントがシングルス、ダブルスどちらか50ポイント以上ある選手
- ・使用球 FORT
- ・協賛 ダンロップ
- ・エントリー会 10月17日(土) 南山大学名古屋キャンパス
- ・エントリー代 1人2,000円
- ・その他 エントリー会后、グループのポイント数(シングルス)を計算してポイントが高い順に各ブロックに配置する。(予選のブロック内で強いチーム同士があたらないようにするため)

【3】 その他 FAX、メールでの部長・監督の方のご意見への対応

1. 会計について

〈今回の部長・監督会議でのご意見〉

- (1)2014 年度の会計報告を開示してほしい。
- (2)会計監査の制度を導入してほしい。
- (3)リーグ戦で不足分が出たと聞いたが、その対応策（返済計画）を明示してほしい。

〈学連〉

(1)2014 年度の会計報告（別紙参照）

(2)会計監査については導入できるよう動いていきたい。

(3)対策

①パンフレット制作費

- ・各大会のパンフレットを印刷会社に頼んでいたが、購入する学生数が少なく、配布数が減っているにもかかわらず、印刷費に多くの費用が掛かってしまっていたため、今年度は新進大会、春大会、夏大会、チャレンジ大会のパンフレットは学連が自作し、リーグ戦、室内大会のパンフレットは印刷会社をお願いすることとした。（130 万円ほどの削減）

②ボール代

- ・試合で使用する予選のボールを 4 球缶にした。
- ・3 社からボールを購入しており、3 社ともボール代が同じになるよう 2 社のボール代を下げてもらった。

③学連のホテル代

- ・昨年はリーグ期間中、学連はホテルに泊まり運営を行っていたが、多くの費用がかかるため、運営回数を減らし、自宅から通える形とする。（90 万円ほどの削減）

④エントリー会の会場費

- ・エントリー会の会場を愛知県スポーツ会館で行うのではなく、大学で行うこととした。

⑤郵送費

- ・エントリー会の案内は各大学に郵送、エントリー会当日の資料は配布していたが、ホームページに掲載し、すべての選手がみられるようにし、また主務の人が資料をダウンロードし印刷できる形とした。

（15 万円ほどの削減）

- ・審判要請の案内は各大学に郵送していたが、直接電話で連絡する形とした。
- ・広報委員が各企業へ送る書類は郵送していたが、メールでよいと言ってくれる企業に対してはメールで送るといった形とした。

⑥学連の交通費

- ・各大会の運営人数を減らし、役員の交通費をおさえることとした。
- ・昨年まではホームページに資料をアップするには学連のパソコンでなければできず、事務所を通っていたがホームページを新たに作り、どこからでもアップできるようにした。

〈今回の部長・監督会議でのご意見〉

- (1) 来年からのエントリー費はどうするのか。
- (2) 来年度以降も切り詰めるのか。
切り詰めると学連がつかなくなるのか。
- (3) 無駄を削減するのはいいが、必要予算を掲載すべき
- (4) お金に関しては大人に確認してもらうべきである。
- (5) 印刷会社を入札すべきである。

〈学連〉

- (1) 来年度の室内大会本戦の会場費によってエントリー費を変更するかどうかを考える。
- (2) 来年度以降、どのような方針で運営していくかは今年の様子を見て考える。
- (3) 必要予算に関しては、後日掲載する予定。
- (4) 会計監査をつける予定。
- (5) 参考にする。

【4】 質疑応答

1. 学連について

〈今回の部長・監督会議でのご意見〉

(1) 1部校が学連の2/3を占めている。

大会に参加している大学は学連を出すべき。

〈学連〉

(1) 『東海学生テニス連盟規約 第12条 委員はリーグ戦に於ける男女1, 2部校より各1名ずつ及び他校より若干名選出するものとする。』に基づき、学連を選出しているため、1部校が学連の2/3を占めている状態になっている。

学連選出方法に関しては、学連で話し合う。

2. 主将主務会議

〈今回の部長・監督会議でのご意見〉

(1) 主将主務会議の結果を残し、公開すべきではないか。

(2) 欠席の人には委任状を出してもらったほうがよいのではないか。

〈学連〉

(1) 主将主務会議での議事録はホームページに掲載する。

(2) 学連で話し合う。

3. 大学の一本化

〈今回の部長・監督の方のご意見〉

(1) 大学で団体登録をすべきではないか。

王座に行くのは1大学。

例えば、愛知学院大学と愛知学院大学歯学部が決勝戦をやったらどうなるの？

内部のことは各大学に任せればよい。

(2) 東海海洋のような地域が異なる大学はどうするのか。

地域内に一つにしてはどうか。

(3) 全日とも話し合う必要があるのではないか。

〈学連〉

(1)(2)(3) 大学の一本化に関しては学連で話し合いたい。